

幼児あそびの種類と育ち

5歳児終了時までには育てほしい「10の姿」		内 容	主体的あそび	こどもの行為	道 具	こどもの発達
健康な心と体	健康な心と体を育て、幼稚園生活の中で充実感や満足感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせながら取り組み、見通しを持って自ら健康で安全な生活を作りだしていけるようになる。		年少・年中	練習あそび	物を使って動くこと 物を扱うこと（大切なのは、 それで行う行為） 全てのあそびの中に練習はある	手の器用さ・微細運動・運動コーディネート 粗大運動・空間認知・物や道具の特徴を知る 能動性（私がした）言語コミュニケーション
自立心	身近な環境に主体的に関わりいるいろいろな活動や遊びを生み出す中で、自分の力で行うために思い巡らしなどして、自分でしなければならないことを自覚して行い、諦めずにやり遂げることで満足感や達成感を味わいながら、自信を持って行動するようになる。					
協調性	友達との関わりを通して、お互いの思いや考えなどを共有し、それらの実現に向けて、工夫したり、協力したりする充実感を味わいながらやり遂げるようになる。					
道徳性・ 規範意識の芽生え	してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりを守る必要性が分かり、決まりを作ったり守ったりするようになる。		年少・年中・年長	構成・ 構造あそび	・積み木 物と物をつなぎ合わせる 重ねる何を作りあげること ・構造 目的意識をもち構成物を 使って作る段階を指します ・工作 工具・道具・素材を使い ながら物を作る	練習していく中で微細運動が発達する 道具の特徴を知る 分解・合体し物をより小さな部分から全体を知る 数的概念の基本となる・創造性が発達する
社会生活との 関わり	家族を犬切にしようとする気持ちを持ちつつ、いろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に一層の親しみを持つようになる。遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報を適切に伝え合ったり活用したり、情報に基づき判断しようとして、情報を取捨選択などして役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用したりなどして、社会とのつながりの意識等が芽生えるようになる。					
思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組み等を感じ取ったり気付いたりするなかで、思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達などの様々な考えに触れる中で、自ら判断しようとして考え直したりなどして、新しい考えを生み出す喜びを感じながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。					
自然との関わり 生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、身近な事象への関心が高まりつつ、好奇心や探究心を持って思い巡らし言葉などで表しながら、自然への愛情や畏敬の念を持つようになる。身近な動植物を命あるものとして心を動かし、親しみを持って接し、いたわり大切にすることを覚えるようになる。			役割あそび	仲間とのコミュニケーションの 要求であそぶ 不快な体験をあそぶ 緊張を緩和させる こどもにとってなれることので きないものを遊びの中で あそぶ	自分にとって大切な人を真似する 想像力・知的能力・上下関係の相手に適応する 社会的関係づくりを知る 体験した事をちがう方向から見る事を学ぶ 社会的役割を練習する 言語コミュニケーション能力を発達させる 思考を発達させる
数量・図形、 文字等の関心・ 感覚	遊びや数量の中で、数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりして、必要感からこれらを活用するようになり、数量・図形、文字等への関心・感覚が一層高まるようになる。					
言葉による 伝え合い	言葉を通して先生や友達と心を通わせ、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思い巡らしたりしたことなどを言葉で表現することを通して、言葉による表現を楽しむようになる。			ルールあそび	運動ルール ゲーム 伝統的あそび（わらべうた）	社会性（協働・適応力・融通性・義務心・責任感） 発力力組織力・集中力・状況認識力・利発さ・ クリエイティブ力・問題解決思考力・道徳的な 性質の形成 自己規律・事故統制力・持続性・信頼性
豊かな 感性と表現	みずみずしい感性を基に、生活の中で心動かす出来事に触れ、感じたことや思い巡らしたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程をたのしんだりして、表現する意欲が高まるようになる。					